

ベントグリーンを夏越しさせる9つのSTEP

STEP 1 【早春】

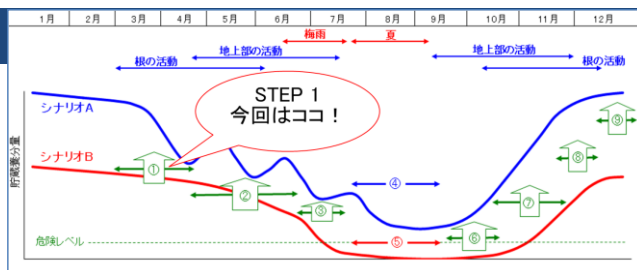
「春の一山」: 発根の促進と窒素による地上部刺激



- 温度の上昇とともに、まず根が活動しはじめたが、葉にはまだ温度が低いという、春の初めの状態です。

気象・芝・土壌の状態

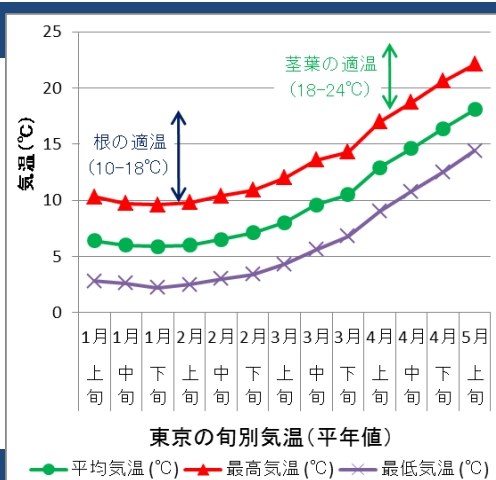
- ・ 根の適温に入り、葉身のP・Kが上昇開始、白根も発生
- ・ まだ地上部には低温、光合成や葉の伸びは少ない
- ・ 窒素を多めに与えても、葉の過剰生長は起こりにくい
- ・ 貯蔵養分は高く、呼吸消費はまだ少ない
- ・ 冬の間に土壌には有機物が貯まっていることが多い



管理目標=ベントを動かし、春の本格生長に備える

春の本格生長に迅速に移行するためには、根の活性と光合成を高め、土壌の問題も改善しなければなりません、次の課題があります

- ・ 体内の光合成関連要素や、細胞分裂に必要な要素が、冬の間に減ってしまっていることがある
- ・ 根は動き出したばかりでまだ本調子ではなく、特に吸収にエネルギーを必要とするリン・鉄などは不足気味
- ・ まだ光合成能力が低く、炭水化物生産は少ない
- ・ 地上部の生長や代謝はまだ鈍く、施肥などの刺激への反応も薄い
- ・ 冬の間に土壌状態が悪化しているのに気付かないことがある (有機物蓄積、通気・透水低下、ドライスポット、塩基飽和度の低下)



管理作業のポイント

施肥の刺激でベントを動かし、貯蔵養分を使って発根や光合成をアップ、細胞分裂に必要な要素も補い、可能な限り早く春の本格生長に入るよう、スタートダッシュを切ることが、この時期のポイントになります。

【ポイント1】「春の一山」=多量要素(N・P・K)を充分に与え、ベントを動かす

- ・ 土壌と葉身のNPKのレベルを確認し、粒状肥料と液肥で補給する
- ・ 粒状肥料で土壌にしっかりNPKを補充、施肥のベースラインを作る
- ・ 液肥で吸収の良い窒素やリンを与え、葉身中のレベルを確保する
- ・ アミノ酸などのサプリメント類で代謝を促進し、生長を刺激する

【ポイント2】 N以外の光合成関連成分も補い、光合成をアップ

- ・ 窒素に加え、Mg・Fe・微量元素などの光合成関連要素を、吸収の良い形で与える

【ポイント3】 リンで根の生長や細胞分裂を促す

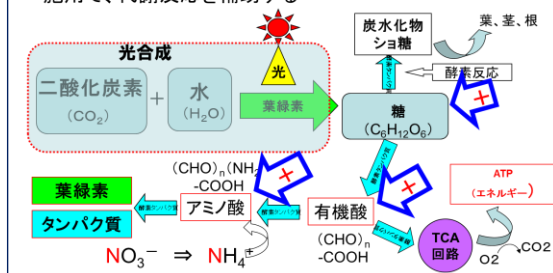
- ・ 細胞分裂に必要なリンを充分に与える (低温期は亜リン酸、温度が上がってきたら粒状肥料)

【ポイント4】 土壌環境を改善する

- ・ 土壌分析を行ない、この時期にも可能な対策を取る:
有機物が多い場合 → 低温型サッチ分解剤
透水性が低い場合 → スパイクング
土壌撥水性がある → 強力な浸透剤での早めの改善
塩基飽和度が低い場合 → ミネラル類(Ca・Mg・K)の土壌への大量投与で、窒素暴発しにくい土壌に改善

低温時のサプリメント資材

- ・ 低温で酵素活性が下がり、光合成や、糖から有機酸・アミノ酸などを合成する代謝が下がる
- ・ 糖・有機酸・アミノ酸・サイトカニンなどサプリメントの施用で、代謝反応を補助する

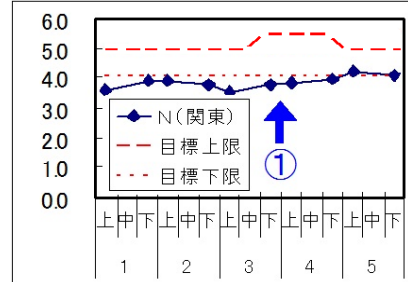


【葉身分析のポイント】 ※葉身分析と貯蔵養分フルクタンについてはSTEP 0【総説】をご参照

- ・ 葉が暴れにくいのでNは高め(4~5.5%)、Mg・微量元素も確保して光合成を引き上げる。Pは可能な限り早く0.45%以上まで引き上げる。フルクタンは一時的に目標値(25mg)を割っても、その後反発すればOKとする。

この時期のおすすめ資材・機材

- 【グリーン用粒状肥料 ニュートリDG DGハイP・DGベース】
粒肥で土壌のNPKを確保してベースラインを作り、芝草の立ち上がりに備える
- 【尿素含有液肥 The クラシック、フェロメック】
葉面から窒素を補給して生長を刺激、光合成と葉色の向上
- 【Foltec The ZEN、アミノレスキュー、ユニレイト】
アミノ酸・有機酸・糖で代謝を刺激、吸収の良い微量元素で光合成向上
- 【亜リン酸液肥 TKOフォスファイト】
吸収の良い亜リン酸液肥でリンを補給、根の生長を促す
- 【グリーン用低温型サッチ分解剤 分解くんCF-1】
冬にたまった有機物を分解、透水性や通気性を向上
- 【土壌浸透剤 TILWA】
強力な効果と長期の残効で、温度が上がる前にドライスポットを治癒



春先のペントグリーンでは、葉身中の窒素など多量要素が不足していることが多い。
(図: 2008年関東地方の葉身窒素平均値)

早春の粒状肥料による施肥に
分散性粒状肥料

ニュートリDG

窒素のベースラインを作り、
大量に必要な栄養素を土壌に補給

- ・DG ハイP
成分: 12-24-8+Mn 0.5%-Mg 0.5%
窒素の50%が緩効性のミューテック
残りは吸収の良いアンモニア態
細胞分裂等に必要のPを重点配合
- ・DG ベース
成分: 18-9-18+Mn 0.14%
窒素成分は 60%がミューテックで
緩効性と即効性とのバランスに優れ
多くの場面で効果的に使用可能

低温期の代謝を補い、ペントを活性化させるサプリメント剤

Foltec The ZEN ・ アミノレスキュー

アミノ酸・有機酸・糖で炭水化物代謝を補助
微量元素やサイトカニンが光合成をアップ

早春の根の生育促進に 亜リン酸液肥

TKOフォスファイト

根の活性の低い低温期にも
吸収の良い亜リン酸を
使いやすく調合

- ・リンの全量が、効果の高い亜リン酸
- ・水溶性が高く、吸収が良い
- ・根量の増大
- ・緑色の改善・アントシアン抑制
- ・0-29-26 の高カリウム配合
- ・使いやすいpH5~5.5で、酸性・中性・アルカリ性の資材との混合が可能
- ・高濃度少水量散布にも適合

強力な効き目が長続き 早春の処理に

土壌浸透剤 TILWA

早春～梅雨の処理で撥水性を解消
高温期のドライスポットから守る

- ・極めて高い効果
(撥水性改善・土壌水分均一化)
- ・通常4ヶ月程度、最大半年以上の長期残効
- ・低温期の使用で、梅雨～夏までをカバー
- ・春の本格生育をサポート
- ・5月以降の高温ダメージを回避

※TILWA＝高機能性土壌浸透剤の草分け、そして、今もベストの浸透剤

→ 「STEP 2」に進む

※葉身分析目標値: 過去の分析結果から弊社が独自に設定した、時期毎の暫定目標値です。随時改訂しています。

東洋グリーンはペントグリーンの夏越しを応援します

東洋グリーン株式会社

本社 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-33-8 浜町アクセス
TEL 03-3249-7731 FAX 03-3249-7781

東日本営業部 TEL 03-3249-7735 大阪支店 TEL 078-903-6776
名古屋支店 TEL 052-505-8880 九州支店 TEL 0942-43-7234

ホームページ <http://www.toyo-green.com/>
お問合せ info@toyo-green.com